

平成23年度

新居浜市立郷土美術館協議会

1. 日 時 平成23年11月18日（金） 16:00～17:00

2. 場 所 郷土美術館3階 教室

3. 出席委員 8名（定員10名）

4. 事務局 3名

5. 傍聴人数 0名

6. 議題

(1) 会長・副会長の選任

(2) 郷土美術館の運営について

ア 平成23年度 事業取組状況

イ 平成24年度 事業取組状況

(3) その他

協議会会議録

事務局	本日は大変お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。平成23年度郷土美術館協議会を開催いたします。協議に入ります前に、新居浜市審議会等の公開ということで、委員の皆さんにご承認をお願いいたします。よろしいでしょうか。
委員	はい
事務局	では公開ということで進めさせていただきます。はじめに高橋事務局長からご挨拶を申し上げます。
事務局長	皆さんこんにちは。本来であれば教育長が出席しご挨拶を申し上げるところですが、海外出張中でございます。かわりまして私がお挨拶申し上げます。 本日はご多忙の中、平成23年度第2回郷土美術館協議会へご出席いただきましてありがとうございます。また、今回快く協議会委員をお引き受けくださりまして、心からお礼を申し上げます。郷土美術館では、「見る創る触れる」をテーマに鑑賞・創作活動を触発し、市民の文化意識の高揚と、文化活動の振興を図るため、様々な事業の実施をしております。その中で特に大きな事業といたしまして、今年度は平山郁夫氏の特別企画展、来年度は市政75周年事業として、新居浜市出身の近藤勝也氏の特別企画展等の開催を考えておりまして、著名な人物の素晴らしい作品を公開できることで、本市の芸術文化の振興に繋がるものと考えております。本日は、委員就任以来最初の協議会となりますので、会長・副会長の選任の他、今後の取り組み状況等につきまして、ご説明させていただきますとしております。委員のみなさまには、今後2年間の任期がございりますが、今後とも、郷土美術館の円滑な運営にご尽力、ご協力いただけますようお願い申し上げます。簡単でございますがご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願い致します。
事務局	続きまして、皆さんに自己紹介をお願いいたします。
委員	(それぞれ自己紹介)
事務局	なお、多喜浜小学校長の眞鍋慶子さんと、愛媛新聞社新居浜市社長の西英滋さんは、本日欠席とのご連絡をいただいております。新居浜市立郷土美術館管理運営規則第17条第2項の規定によりまして、10人中8人の出席を頂き、過半数に達しておりますので、この会は成立しております。 では、ただいまから議題に入ります。まずは、協議会の会長と副会長の選任をいたします。新居浜市立郷土美術館管理運営規則第16条第2項の規定によ

り、会長・副会長は、委員の互選によるとされておりますので、委員のみなさま、推薦をおねがいたします。

井上委員 引き続き、日野先生と、篠原先生にお願いできたらと思いますが、どうでしょうか。

事務局 他にありませんか。なければ、会長に日野委員、副会長に篠原委員ということで、賛成の方は拍手をお願い致します。

委員 (拍手)

事務局 満場一致で、決定です。それでは会長と副会長は、前の方へ、席を移動してください。

日野・篠原 (移動)

事務局 一言ずつご挨拶を頂きたいと思います。

会長 先日ブータンの国王が来日されていましたが、ブータンでは実に90%の国民が幸福であると感じているそうです。国王は、物の豊かさだけでは幸せにはなれないとおっしゃっていました。まさに芸術文化こそが、心の豊かさを育む大事な役目を果たしていると感じながら、一生懸命やっていますので、よろしくお願いたします。

副会長 はい、よろしくお願いたします。

事務局 ありがとうございます。ここからは、日野会長に議事の進行をお願い致します。

会長 では、議題2の平成23年度事業取組み状況を事務局からご説明お願い致します。

事務局 資料の2ページをごらんください。特別企画展平山郁夫展につきましては、次世代へのメッセージをテーマに、11月26日から12月25日までの1ヶ月間、会期中無休で開催する運びとなっております。関連事業としましては、ご覧の日程で、シンポジウム、ギャラリートーク、ワークショップを開催いたします。

前売り券につきましては、ご覧の箇所で9月15日から販売中でございます。販売状況につきましては、郷土美術館で現在361枚、現在把握出来ている販

売総数は535枚、その他、販売して頂くために預かって頂いているのが2188枚です。美術館では先頃市展や県展も開催され、徐々に広がりを見せています。

広報につきましては、愛媛新聞での広告に加え、テレビではハートネットワークの情報ボックスにて5分間番組を放送中です。市政だよりでは11月号で1ページの特集記事を、インターネットでは、市のHPやツイッターにて情報を掲載中でございます。またポスターやチラシをご覧のような機関、約300箇所へ送付しております。

以上、取り組み状況の報告を終わります。

会長

ありがとうございます。平山郁夫展は大きな事業として美術館も力を入れています。また文化協会には券の販売等で非常にお世話になっております。みなさまもご支援をよろしくお願いいたします。

何かご意見がありましたら、お願いします。

井上委員

26日のギャラリートークは、椅子を出して行うのですか？

事務局

いえ、作品を見ながら、会場内を移動して、解説をしていただきます。人数が多過ぎると、聞こえにくいなどの問題も出てくるかもしれませんが、一人でも多くの方に参加して頂きたいと考えております。場合によってはマイクを用意するということも考えています。

井上委員

わかりました。

会長

他になにかございますか？無いようでしたら次へ移ります。

平成24年度事業取組み状況を事務局からご説明お願いします。

事務局

平成24年度は、特別企画展として、近藤勝也展を考えております。

手元にも資料を配布しておりますが、スタジオジブリを中心にアニメーターとして活躍されている方で、スタジオジブリに企画制作としてご協力いただきまして開催を計画しております。会期は7月27日から8月26日までの夏休み期間とし、親子連れを巻き込んでいきたいと考えております。内容や作家については資料をごらんください。

これまでの経過につきましては、10月に学芸員と私がスタジオジブリへ赴きまして打ち合わせを行い、関連企業等からもご協力いただけるということになりました。また近藤勝也さんにもお会いして、企画へのご承諾をいただいております。

また、来年は本市の市政75周年でございまして、記念事業として申請しましたところ、承認を得ることができました。

会長	ありがとうございます。 ここままでなにかご意見、ご質問などありますか。
大浦委員	これは新居浜でしかやらないのですか？
事務局	そうです。
大浦委員	若い子などは非常に興味をもつでしょうから、近隣の市町村からかなり来られるんじゃないかとおもいます。PRをうまくやればかなりの集客が見込めるのではないかと思います。こういうのを機会に、美術に親しんでもらえるといいなと思います。はじめて美術館に来るとい子もいるでしょうからいいなと思います。
事務局	ありがとうございます。
永易議員	ジブリさんというと、キャラクターグッズの販売などもされていますが、グッズの販売はされるのですか？
事務局	グッズの販売は予定しております。ジブリでも許可をいただいております。
会長	他にございませんか？では引き続き報告をお願いします。
事務局	企画展としましては、西原元展を計画しております。時期は25年の1月から2月ごろを予定しております。 西原元さんは、独自の抽象の世界を追求された洋画家です。同時に具象画にも取り組まれました。オリゾン洋画研究所で絵を学ばれ、昭和33年に新画会を結成されました。これは後に新居浜美術研究所となりました。新居浜の文化向上にも目を向けられて、文化協会の運営や後継者の育成にも尽力されました。平成6年に亡くなられてもう20年近くになりますが、作品の保存状態が良く、また点数もかなり残っております。この機会に、特に若い方に見ていただいて感性を磨いて頂けることを期待しています。
会長	西原元さんは住友化学に勤めておられまして、新居浜の洋画界では草分け的存在です。中央でもユニークな作品を発表していました。いい展覧会になることを期待しています。みなさん、何かご意見ありますか。 無いようですので、次のその他の議題へ移ります。
事務局	今、24年度までは事業が決まりまして、最後25年度が残っている訳ですが、

皆さんからも事業に関してご意見があれば、是非お聞かせいただければと思います。

会長

皆さん、なんでも、ご意見をおねがいたします。
質疑や意見交換など、なにかありましたら、なんでもお願いします。

塩見委員

ジャンルに富んだ企画展が予定されているのは良いことだと思います。
立体の作品、陶芸なども考えてみてはいいのではないのでしょうか。

会長

事務局で、ぜひ検討してみてください。

事務局

はい

大浦委員

近藤勝也さんはこのあいだ南高で講演会をされていましたね。ああいうのをやっていたらなと思います。

事務局

できければ期間中にそういったイベントもできないかと考えています。

合田委員

文化協会に関わる中で気づいたことがあるんですが、市展での版画の出品が少ないんです。制作されている方は多くて、県展には出品されているのですが、市展までは行き渡っていないようで。美術館には文化教室がありますよね。そこで版画の教室を開講していただければ、版画の裾野が広がってくるのではないかなと思うのですが。考えていただけたらと思います。

会長

部門の偏りは、今後の課題として、新居浜だけでなく日本全国に言えることですが、なかなか難しいところですね。ぜひご検討ください。

では本日はこれで締めたいと思います。委員の皆様には、ご多忙のご出席頂き、また非常に貴重なご意見を頂きありがとうございました。今後ともよろしくご支援ください。ありがとうございました。